



令和2年度学校評価プラン

重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評価			学校関係者の意見	今後の改善方策
			評価指標の達成度	評定	総合評価		
2 学習指導の改善	(全体レベル) (1) 生きる力を育むため、基礎・基本の確実な定着を図り自己教育力を高める。 (2) 確かな学力の育成を目指し、学習内容の厳選・創造及び指導方法の工夫・改善を行う。 (3) 個性の伸長を図り、専門的な知識・技術を習得させ、スペシャリストへの道を拓く。 (詳細レベル) ①授業時数の確保 ②授業技術の向上 ③各種資格取得の奨励 ④自己学習力の育成 ⑤实际的・体験的な学習の充実・発展	評価指標 ① 自習率 1.0%以下 (0.89%) ② 授業満足度 80%以上 (79.9%) ③-1 全商検定3種目以上1級合格者 40名 (18名) ③-2 技能奨励賞 60名 (49名) ③-3 日商簿記検定2級合格 10名 (7名) ③-4 ITパスポート試験合格 1名 (2名) ③-5 建設業経理士2級合格 (3月11日試験 5月結果発表) 3名(*名) ④-1 図書館利用者数 3,600名 (3,515名) ④-2 一人あたりの年間読書冊数 4.5冊 (4.48冊) ④-3 一人あたりの年間貸出冊数 1.8冊 (1.7冊) ④-4 図書館通信の発行回数 12回 ⑤-1 地域連携活動テーマ数 13テーマ (13テーマ) ⑤-2 ビジネスアイデアコンテスト参加チーム数 2種4チーム (1種2チーム) 企業とのコラボ回数 50回 (50回) ⑤-3 市場流通可能な商品開発数 5商品 (5商品) ⑤-4 実践的授業の試行 5回 (5回)				(所見)	
		活動計画 ① 学校行事の精選を行うほか可能な限り振り替えを行い、授業時数を確保する。 ② 「学力向上」の実現のため生徒の実態にあった指導及び工夫改善を行う。 ③ 通常・検定前補習を充実させるほか個人指導を効果的に実施。 ④-1 図書委員を通じたホームルームでの広報活動や、イベントの企画を行い、入館しやすい図書館作りに努める。 ④-2 各教科と連携し、図書館の利用を推進する。 ④-3 「ミニ・ビブリアバトル」「図書館祭」「POP作成」等を充実させ、広く啓発活動を行う。 ④-4 「図書館通信」が生徒に身近に感じられるよう工夫を凝らす。 ⑤-1 地域社会や企業等と連携した教育活動の実施 ⑤-2 ビジネスアイデアコンテストへの参加 課題研究における活動の実施 企業との連携による学習活動の実施 ⑤-3 地域企業との連携による商品開発の企画及び実施	活動計画の実施状況				

⑤-4 ICTや効果的な教授法等を導入した主体的・能動的な学びの実施

【備考】評価における「評定」の基準】 A：100%達成 B：80%以上達成 C：80%未満～70%以上達成 D：70%未満～60%以上達成 E：60%未満達成

[ 令和2年度 学力向上実行プラン ]

自 己 評 価				学校関係者評価		次年度への課題と 今後の改善方策
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評 価		学校関係者の意見	
		評価指標	評価指標の達成度	【全教科共通】	評定	総合評価
2 学習指導の改善	<p>(全体レベル)</p> <p>(1) 生きる力を育むため、基礎・基本の確実な定着を図り自己教育力を高める。</p> <p>(2) 確かな学力の育成を目指し、学習内容の厳選・創造及び指導方法の工夫・改善を図る。</p> <p>(3) 個性の伸長を図り、専門的な知識・技術を習得させ、スペシャリストへの道を拓く</p> <p>(詳細レベル)</p> <p>①授業時数の確保</p> <p>②授業技術の向上</p> <p>③各種資格取得の奨励</p> <p>④自己学習力の育成</p> <p>⑤実際の・体験的な学習の充実・発展</p>	<p>【全教科共通】</p> <p>・ICTや効果的な教授法を導入して、生徒の主体的で深い学びを導く</p> <p>(国語)・課題提出率98%以上</p> <p>・漢字検定受検者延べ330人以上</p> <p>(地歴)・課題提出率95%以上</p> <p>・広い視野に立って物事を考察できるための基礎的知識と学力の定着を図る</p> <p>(公民)・定期考査得点率60%以上</p> <p>・課題提出率95%以上</p> <p>(数学)・課題提出率100%</p> <p>・数学の得意度(1~5)調査で1,2年生平均2.8以上</p> <p>(理科)・単元毎にICTの活用</p> <p>・定期考査得点率65%以上</p> <p>(保健体育)・救命救命法や妊娠、出産に関する講演会の実施</p> <p>・生涯体育につながるような運動の基本技術の習得</p> <p>(芸術)・演奏や作品の発表を2回以上行う。</p> <p>・発表では自己評価、相互評価を取り入れる</p> <p>(英語)・全商英検3級合格80%以上</p> <p>・ペア及びグループ活動を通して主体的に表現する機会を増やし、相互評価する。</p> <p>(家庭)・課題提出率100%</p> <p>・ICTや実験実習を積極的に取り入れ知識の定着を図る</p>				(所見) 【全教科共通】
		活動計画	活動計画の実施状況			
		<p>【全教科共通】</p> <p>・生徒の実態に応じた授業法の工夫と教科内外での情報交換と協働</p> <p>(国語)・課題、ノートの点検と評価</p> <p>・漢検の受検準備をサポート</p> <p>(地歴)・準備物の徹底を図り、机間指導や提出物の点検等を通して学習状況を把握し、個々への指導を充実させる。</p> <p>(公民)・課題、ノートの点検と評価</p> <p>・現代社会の課題に興味・関心を持たせる。</p> <p>(数学)・課題、ノートの点検と評価</p> <p>・基礎問題の反復と細やかな指導、グループ学習を行う。</p> <p>(理科)・視聴覚教材等の計画的利用</p> <p>・生徒の実態把握と問題の精選</p> <p>(保健体育)・救命法については欠席者にも後日指導を徹底</p> <p>・選択種目で自己の課題に応じた取り組みを行わせる</p> <p>(芸術)・個々の生徒の段階に応じた指導を行い、サポートする。</p> <p>(英語)・電子黒板を利用し効率的に情報を伝える。</p> <p>・個々の活動への指導と支援</p> <p>(家庭)・課題の点検と評価</p> <p>・ICTを活用し、実験実習を5/10以上取り入れる。授業の学びが実生活に繋がる指導を行う。</p>				







令和2年度学校評価プラン

重点課題	重点目標	自己評価			学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善方策
		評価指標と活動計画	評価			
		評価指標	評価指標の達成度	評定	総合評価	
6 情報化・国際化への対応	(全体レベル) (1) 施設・設備の充実を図り、情報活用能力と情報モラルの育成を図る。  (2) ICTの活用等により、教科指導の充実や校務の効率化を図り、教育の情報化を推進する。  (3) 自国の文化を正しく認識し、異文化との相互理解を深め、国際社会で活躍できる資質を養う。  (詳細レベル) ① ICT環境整備の推進と情報モラルの育成 ② ICTの活用による授業改善と校務の効率化 ③ 自国の文化及び異文化への理解	① クリアデスク実施率 90%(90%) セキュリティポリシー遵守率 100%(100%)				
		② ICT活用度 授業でのICT機器利用度 50%(46%) パソコン教室の利用度 90%(98%)				
		③ 国際交流活動回数 70回(70回)				
		活動計画	活動計画の実施状況			
		①-1 情報セキュリティポリシーにのっとり、情報の漏洩防止を図る。 ①-2 校内情報セキュリティの強化に向けたシステムの再構成を企画する。 ①-3 クリアデスク推進日を設け、机上の整理、情報資産の取り扱い向上を図る。  ② 各教科の特性や生徒の実態を踏まえ、ICT機器を活用した授業実践を推進する。  ③ カンボジア・・・生徒の渡航1回 オリンピック選手 手の受入1回 ジョージア・・・生徒の渡航1回 パラリンピック 選手の受入1回				

【備考】 評価における「評定」の基準】 A：100%達成 B：80%以上達成 C：80%未満～70%以上達成 D：70%未満～60%以上達成 E：60%未満達成

令和2年度学校評価プラン

重点課題	重点目標	自己評価			学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善方策
		評価指標と活動計画	評価	評価		
7 健康・安全・防災 環境・主権者教育 の推進	(全体レベル) (1)生涯にわたって心身共に健康であるための基礎的な身体作りや食習慣を身につける。(食育) (2)自他の生命を尊重し、健康の保持増進と安全・防災意識の高揚を図る。 (3)整理・清掃・整頓・清潔(4S)を徹底して環境美化に努め、奉仕する態度や公共心を養う。 (4)学校版環境ISO認定校として実践を推進し、環境問題への関心を高める。 (5)有権者として、自らの判断で適切に権利を行使できる政治的教養を身につける。  (詳細レベル) ①健康教育の充実 ②安全・防災意識の高揚と実践力の育成 ③校内美化に向けての実践力の育成 ④環境教育の充実 ⑤主権者教育の充実	評価指標 ①-1 食に関するアンケート調査 年1回(1回) ①-2 3年生を対象として卒業前に「地産地消の料理講習会」を実施する。 年1回(1回) ①-3 食に関する展示や食育通信の発行を通して、生徒・保護者への啓発を行う。 年2回(2回) ①-4 保健だよりの発行 12回(12回) ①-5 ホームルーム活動 年1回(1回) ①-6 飲酒・喫煙・薬物乱用防止授業の実施 年1回(1回) ①-7 保健室利用者数(相談対応含む) (811名) 3/1付 ①-8 心肺蘇生法講習会 1回(1回) ② 防災啓発活動の実施 年2回(2回) ③ 清掃状況の点検と改善 年6回(6回) ④-1 ゴミ分別処理の点検常時指導(常時) ④-2 節電・節水の推進を図る。毎月の使用量を教室・廊下に掲示(常時) ⑤ 講演会や生徒による発表会により主権者としての意識の醸成を図る。 年2回(3回)	評価指標の達成度 (所見)	評定 総合評価		
		活動計画 ①-1 生徒の食習慣の実態を把握し食と健康、食に関する自己管理実践能力を育成する。 ①-2 食の自立に関する啓発活動を行う。 ①-3 PTA総会、文化祭の時に実施予定。 ①-4 健康に関する情報発信を行う。(職員生徒への啓発・掲示を行う) ①-5 生徒の課題である健康問題を取り扱い、生活の改善を図る。 ①-6 1年生で喫煙・飲酒・薬物乱用防止授業を行う。 ①-7 健康・安全に関する意識を高め、けがの予防やメンタルヘルスを保つ取り組みを行う。 ①-8 講習を通じて救命についての意識、実践力を育成する。 ② 防災クラブ(生徒会・家庭クラブ)が中心となり、全校生徒を対象として啓発活動を行う。 ③ 環境委員が清掃状況チェックを行い、自己評価し改善に生かす。 ④-1 環境委員がゴミ分別状況調査を行う。 ④-2 環境委員会を中心に節電・節水を呼びかける。 ⑤ ホームルーム活動や主権者教育に関する資料の配付や発表会、講	活動計画の実施状況			

演会等により、自らがより国家を  
構築する主権者であることに気づ  
かせ意識を深化させる。